

**製品名: ADA (11N15) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06574**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	41kDa

**抗原情報**

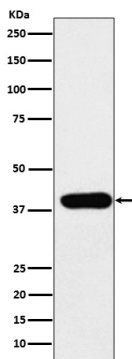
遺伝子名	ADA
別名	ada; ADA1;
遺伝子 ID	100.0
SwissProt ID	P00813
免疫原	ヒト ADA の合成ペプチド

**背景**

アデノシンおよび2-デオキシアデノシンの加水分解的脱アミノ化を触媒します。プリン代謝およびアデノシンの恒常性維持において重要な役割を果たします。細胞外アデノシンによるシグナル伝達を調節し、間接的に細胞シグナル伝達に寄与します。アデノシンおよび2-デオキシアデノシンの加水分解的脱アミノ化を触媒します (PubMed:8452534、PubMed:16670267)。プリン代謝およびアデノシンの恒常性維持において重要な役割を果たします。細胞外アデノシンによるシグナル伝達を調節し、間接的に細胞シグナル伝達に寄与します。DPP4に結合することで、T細胞の共活性化の正の調節因子として作用します (PubMed:20959412)。DPP4との相互作用により、リンパ球と上皮細胞の接着が調節されます (PubMed:11772392)。樹状細胞の共刺激分子発現およびサイトカイン・ケモカイン分泌に影響を及ぼすことで、樹状細胞の免疫原性を高める (類似性による)。CD4+ T細胞の分化および増殖を促進する (PubMed:20959412)。アデノシン受容体 ADORA1 および ADORA2A の立体構造変化を介してリガンド親和性を高めることで、それらの正の調節因子として作用する (PubMed:23193172)。プラスミノーゲン活性化を促進する (PubMed:15016824)。男性の生殖能力に関与する (PubMed:21919946, PubMed:26166670)。着床後早期胚発生において保護的な役割を果たす (類似性による)。

## 研究分野

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の ADA 発現のウェスタン プロット分析。